

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●高田潤騎手がJRA通算200勝を達成

7月13日(土)の2回福島5日・第4レースではグレートパローズが1着となり、同馬に騎乗した高田潤騎手(栗東・フリー)は、現役56人目となるJRA通算200勝(2377戦目)を達成しました。

### ●吉田豊騎手がJRA通算1万8000回騎乗を達成

7月13日(土)の2回福島5日・第12レースでグローリアスカペラに騎乗した吉田豊騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上11人目・現役7人目となるJRA通算1万8000回騎乗を達成しました。

### ●田島俊明調教師と中舘英二調教師がJRA通算200勝を達成

7月13日(土)の2回福島5日・第12レースではカピリナが1着となり、同馬を管理する田島俊明調教師(美浦)は、JRA通算200勝(延べ3995頭目)を達成しました。翌14日(日)の2回福島6日・第3レースではシドニーライトが1着となり、同馬を管理する中舘英二調教師(美浦)もJRA通算200勝(延べ2370頭目)を達成しました。田島調教師が現役106人目、中舘調教師が現役107人目の200勝となります。

### ●セレクトセール2024開催

7月8日(月)と9日(火)の2日間、北海道苫小牧市のノーザンホースパークにおいて「セレクトセール2024」(主催・一般社団法人日本競走馬協会)が開催されました。初日の1歳馬セッションは上場233頭(牡137頭・牝96頭)、落札224頭(牡133頭・牝91頭/落札率96.1%)、落札総額は144億9700万円。2日目の当歳馬セッションは上場239頭(牡156頭・牝83頭)、落札231頭(牡149頭・牝82頭/落札率96.7%)、落札総額は144億2100万円で、2日間の合計は289億1800万円となって記録を更新。最高額をつけたのは、1歳馬セッションはデルフィニアⅡの2023(牡/父はカタサンブラック、祖母は愛1000ギニー勝ち馬)で5億9000万円、当歳馬セッションはセリエンホルデの2024(牡/父はカタサンブラック、半兄はシュネルマイスター)で4億1000万円でした(金額はすべて税別)。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●マーキュリーC(盛岡)でクラウンブライドが国内重賞初制覇

マーキュリーC(JpnⅢ、7月15日、盛岡、2000m)は、2番手から3コーナー過ぎに先頭に立った2番人気のクラウンブライド(横山武史騎手、牡5歳、父リーチザクラウン)が、最後方近くから追い込んだビヨンドザファザーの猛追をハナ差で凌ぎ、UAEダービー、コリアCに次ぐ3度目の重賞制覇。3番人気のロードアヴェニールが3着、テンカハルが4着に入り、1番人気に推されたメイショウブジンは逃げられず8着に沈んでいます。

### ●マルカイグアスが兵庫優駿(園田)を圧勝【各地の主要3歳重賞】

兵庫ダービーから改称された兵庫優駿(7月4日、園田、1870m)は、序盤5番手から早目に進出した3番人気の園田ジュニアCの覇者マルカイグアス(牡、父マクフィ)が向正面半ばで抜け出し、後続を8馬身引き離しました。佐賀ユースC(6月30日、佐賀、1400m)は、4番手前後から3コーナー手前で先頭に立った4番人気のムーンオブザサマー(牝、父モーニン)が6馬身差で圧勝。ハヤテスプリント(7月2日、盛岡、1200m)は、先手を取った2番人気の北海道からの遠征馬オスカーブレイン(牡、父ダノンレジェンド)が、単勝1.6倍で断然人気のマッシュャーブルム(大井)に5馬身差を付け、2歳時のサッポロクラシックCに次ぐ重賞制覇を果たしています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●香港年度代表馬にロマンチックウォリアー

香港競馬の年度代表表彰であるチャンピオン賞が現地7月12日に発表され、7月14日に終了した2023/24年シーズンの香港年度代表馬にロマンチックウォリアー(騾6歳、父アクラメーション、C.シャム厩舎)が輝きました。ロマンチックウォリアーはシーズン初戦としてオーストラリアで走った10月上旬のG1ターンプルSは4着でしたが、続く10月下旬のG1コックスプレート(芝2040m)に優勝。その後も帰国初戦となった12月のG1香港カップ(芝2000m)、今年2月のG1香港ゴールドC(芝2000m)、4月のG1クイーンエリザベスⅡ世C(芝2000m)、そして6月のG1安田記念(芝1600m)とG1・5連勝でシーズンを締めくくりました。

### ●G1パリ大賞〜ソジーがG1初制覇

7月13日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG1パリ大賞(3歳牡牝、芝2400m)は、M.ギュイヨン騎手とのコンビで出走したソジー(牡3歳、父シーザスターズ)が直線で力強く抜け出して、G2クイーンズヴァーズの勝ち馬イリノイに2馬身差をつけて快勝。重賞初制覇をG1で飾りました。勝ったソジーは2歳時に2戦1勝。今季初戦となった4月の一般戦(芝2150m)を制して臨んだ前走6月のG1仏ダービーは3着でした。なお、管理するA.ファーブル調教師は自身の持つパリ大賞最多勝記録を14に伸ばしました。